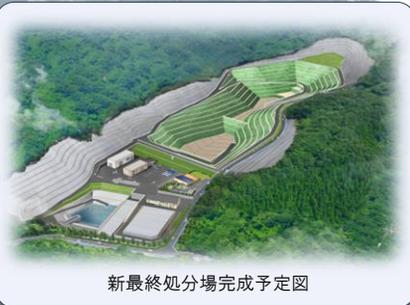


令和6年も残すところ一月ほどとなり、寒さも一層強まってまいりました。
処分場の工事現場では、仮設道路を整備するため発破作業を行っています。また、日立市議会や地元4学区による現地視察が行われましたので、その様子をお知らせいたします。



新最終処分場完成予定図



R6.11.1 ドローンで撮影

仮設道路の整備のための発破作業

仮設道路の整備にあたっては、発破と呼ばれる爆薬を利用した岩盤掘削作業を行っています。

発破を行う際には、現場を飛散・騒音防止用シートで覆っており、近隣で騒音・振動の測定を行ったところ、環境への影響は、ほとんどないとの結果となりました。



飛散・騒音防止用シート

発破前



発破後

堆積場からの仮設道路を整備するための発破の様子

希少種のトンボの羽化が確認されました



処分場敷地内に生息していたネキトンボが、ヤゴを移設した代替池の周辺で、成虫になり、元気に飛んでいる姿が9月初旬に確認されました。



【お問い合わせについて】

担当：一般財団法人 茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所

電話：0294-33-8731 E-mail: seibi@ef-kasama.or.jp

その他：工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団のホームページ(<https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info>)
又は二次元コードからご確認いただけます。



現場だより

日上市議会の現地視察

9月25日、日上市議会に設置されている新産業廃棄物最終処分場整備調査特別委員会が開催され、委員会室での質疑の後、現地視察が行われました。

埋立予定箇所を見渡せる場所で、工事が順調に進んでいることを説明しました。



地元4学区の現地視察

10月11日、地元4学区(諏訪、大久保、成沢、油縄子)の役員を対象とした現地視察を行いました。

当日は、工事の進捗状況を現場で確認していただくとともに、参加者の皆様と安全性などについて質疑応答を行いました。



処分場建設工事中の環境モニタリング

工事中の環境モニタリングの結果

● 水質(9月測定)

工事現場からの雨水排水を測定したところ、工事の影響はほとんどなく、すべての測定項目で基準未満でした。

● 地下水(9月測定)

処分場周辺に設置しているモニタリング井戸の水質を測定したところ、工事の影響はほとんどないことを確認しました。



出典: 国土地理院

処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点

環境モニタリングの詳細な結果は、事業団のホームページで公開しています。



処分場建設工事中の環境モニタリング結果

編集記

今号も『事業団からのお知らせ』をお読みいただき、誠にありがとうございます。さて、本誌おても面の処分場建設工事現場の全体写真は、毎月同じ場所からドローンで撮影しております。Vol.1と比べまして、まだ大きな変化は感じられませんが、段々と処分場が出来上がっていく様子をお伝えできるかと思えます。今後も毎号新しい写真を掲載してまいりますので、ぜひ、見比べていただければと思います。

